

2020年エコ動画甲子園『エコクイズ』

12月テーマ：プラスチック

(出題：環境文明研究所)

問1 (配点：10点)

2017年の世界のプラスチックの生産量は年間3億5千万トンでした。これは50年前の何倍でしょうか？次のうち、正しいものを一つ選んで下さい。

- ① 約10倍 ② 約20倍 ③ 約30倍

問2 (配点：10点)

このままプラスチックが増え続けると、将来、海に生息する魚の量よりも、プラスチックのごみ量の方が大きくなると予測されています。そのような状態に達するのは何年頃と考えられていますか？ 次のうち、正しいものを一つ選んで下さい。

- ① 2030年頃 ② 2050年頃 ③ 2080年頃

問3 (配点：10点)

プラスチックのリサイクルについて、日本では“リサイクル”のひとつとされていますが、国際的にはリサイクルとはされていないものがあります？次のうち、正しいものを一つ選んで下さい。

- ① マテリアルリサイクル ② サーマルリサイクル ③ ケミカルリサイクル

問4 (配点：10点)

2019年に、廃プラスチック類が規制対象に加わった、「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関する条約」は何条約ですか。

次のうち、正しいものを一つ選んで下さい。

- ① バーゼル条約 ② ワシントン条約 ③ オーフス条約

問5（配点：10点）

「バイオマスプラスチック」に関する以下の文のうち、間違っているものはどれでしょうか。一つ選んで下さい。

- ① バイオマスプラスチックは、素材の大部分が“カーボンニュートラル”であるため、温暖化防止に効果がある。
- ② バイオマスプラスチックは微生物によって分解されるため、海洋ゴミ問題の解決の一助となる。
- ③ 製品の成分の内、バイオマスの使用が50%程度であってもバイオマスプラスチックと呼称される。

問6（配点：10点）

「マイクロプラスチック」の一種として、「マイクロビーズ」と呼ばれるものがあります。「マイクロビーズ」は歯磨き粉、化粧品等に用いられてきましたが、近年は環境への影響が懸念されるようになりました。マイクロビーズに関する以下の文のうち、間違っているものはどれでしょうか。一つ選んで下さい。

- ① マイクロビーズは大きさが数ミクロンから数百ミクロンと小さいので、排水処理施設では除去できず、海に流れ込んでしまう。
- ② 日本ではマイクロビーズを含む洗顔料や歯磨き粉、化粧品等の製造、販売は2018年に禁止された。
- ③ 日本の化粧品メーカーの多くは、2014年以降、スクラブ剤を天然由来成分のものに切り替える取組をしている。

問7（配点：40点）

プラスチックは安価で軽く丈夫で成形しやすいなど、人の生活や事業活動には欠かせない素材なため、皆さんの周りにも沢山あります。

一方、プラスチックは世界中で深刻な環境問題を引き起こしています。①どのような問題があるか、②その原因は何だと思うか、③この問題の改善のために、高校生のあなたにできることはどのような事でしょうか。①～③を踏まえて400字以内で書いてください。